



# 宮脇フォレストと南相馬市



2007.10.28 ふるさとの森づくり植樹祭

2024.10.10 国際シンポジウム：宮脇の森と都市林再生

南相馬市農林水産部農林整備課



# 南相馬市の概要



人口：56,248人(2024年3月31日現在住民登録)

世帯数：24,283世帯

面積：398.58km<sup>2</sup>  
(うち約55%が森林、約17%が農地※)

○2006年1月1日に旧鹿島町、旧原町市、旧小高町が合併して誕生





## 宮脇フォレスト実践の始まり

1993年 旧原町市制五十周年記念事業の中で植生調査を宮脇先生に依頼したことが始まり

⇒宮脇先生から土地本来のシイ、カシ、タブを主木とした防災林が望ましいとの提言をうける

⇒自然環境に関心を持った数多くの市民がボランティア活動として市内の広葉樹の種子を採取してポット苗の育成を始める

1995年 市民ボランティアが種子から育て上げた苗木を活用し宮脇先生の指導のもと第一回市民植樹祭を開催する(2,000本)

**定番となるタブノキ三唱(タブノキ、タブノキ、タブノキー)**



## 宮脇フォレスト実践の始まり

東日本大震災以前の1995年から  
2010年までは毎年市民植樹祭を  
開催し、のべ3,890人の手で  
39,730本の植樹をおこなった

年 度	本数	人数	面積(m <sup>2</sup> )	場 所
1995～1996	4,000	450	1,300	馬事公苑
1997	2,000	250	500	栗浄化センター
1998	2,000	150	400	南相馬市総合病院
1999～2000	4,000	380	1,200	原町第一下水処理場
2001	2,000	200	500	北泉海浜総合公園
2002～2003	4,000	400	1,200	北新田運動場
2004	2,500	260	500	馬事公苑
2005	1,500	130	220	高松浄化センター
2006	1,950	350	309	鹿島区牛島地区保安林内
2007	10,000	650	2,000	小高浄化センター(北・西側)
2008	1,865	200	320	小高浄化センター(南側)
2009	1,915	200	300	小高片草運動場西側
2010	2,000	270	330	小高片草運動場西側
合 計	39,730	3,890	9,079	



# 宮脇フォレスト実践の始まり



第1回(1995年植樹) 植樹祭会場の現在  
馬事公苑



第3回(1997年植樹) 植樹祭会場の現在  
雫浄化センター



# 宮脇フォレスト実践の始まり



第8回(2002年植樹) 植樹祭会場の現在  
北新田運動場

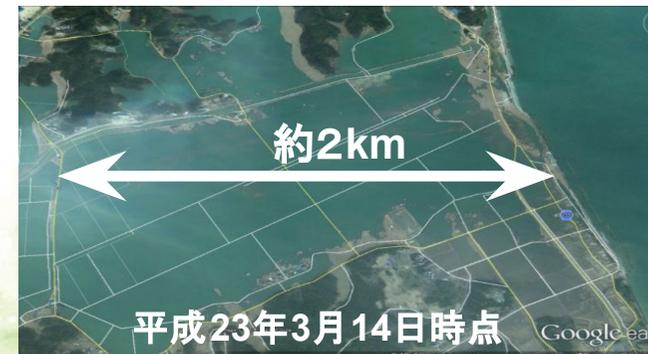


第13回(2007年植樹) 植樹祭会場の現在  
小高浄化センター



# 東日本大震災と南相馬市

2011年3月11日14時46分震度6弱  
の地震が発生  
15時35分津波が南相馬市を襲う





# 東日本大震災と南相馬市



根こそぎ流されて家屋を破壊した防災林のマツ



津波に耐えた屋敷林のタブノキ



# 鎮魂復興市民植樹祭の始まり

発災の3週間後に宮脇先生が被災地入りして現地調査をして頂いた

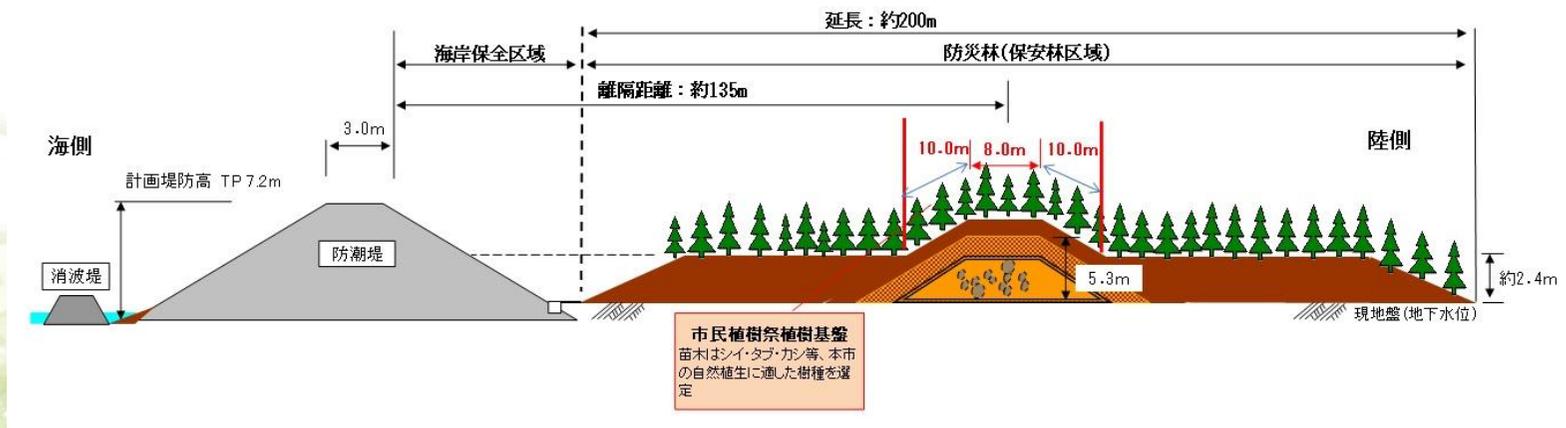
広葉樹の森の優位性を再認識

⇒「命を守る森づくりを行い、多くの人を訪れ、学び、癒される場を築き、そのノウハウを日本中、世界中へ発信する場とすべき」との提案を宮脇先生から頂く

⇒2013年10月第一回鎮魂復興市民植樹祭開催

開催理念：震災により発生した多くの震災がれきを高盛土の基礎として採用する

「その土地本来の木」を植える





# 鎮魂復興市民植樹祭



第1回鎮魂復興市民植樹祭



宮脇先生の植樹指導



# 鎮魂復興市民植樹祭



植樹リーダーの育成



藤原先生の植樹指導



# 鎮魂復興市民植樹祭



第1回鎮魂復興市民植樹祭(2013年)

鹿島区南右田会場の現在



2024年6月9日 小高区塚原地区  
第12回鎮魂復興市民植樹祭の風景



## 宮脇フォレストと南相馬市

鎮魂復興市民植樹祭は、これまで12回の開催でのべ21,000人の手で214,000本の苗が植えられました。

宮脇先生からは「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」の思想と環境保全にご尽力を頂きました。

このことは、南相馬市の多くの市民の知るところであり、先生の志は子や孫の世代へと間違いなく引き継いでいかねばならないものです。

東日本大震災福島第一原子力発電所事故からの復旧復興のために欠かせない取組として、南相馬市はこれからも想いを込めて植樹活動により100年のまちづくりを進めていきます。

開催期日	面積(m <sup>2</sup> )	本数	参加人数
2013.10. 6	5,400	18,000	3,000
2015. 3.29	5,000	20,000	2,900
2016. 3.27	5,000	20,000	2,000
2016.10.23	5,000	20,000	2,000
2017.10.14	5,000	30,000	2,300
2018.11. 4	4,000	18,000	3,000
2019. 6. 2	5,000	25,000	1,900
2020.10.25	400	2,000	200
2021.10.24	500	3,000	200
2022. 6. 5	3,000	18,000	1,000
2023. 6.11	4,000	20,000	1,200
2024. 6. 9	5,000	20,000	1,300
小 計	47,300	214,000	21,000